

# MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の  
情報

No. 235  
【発行・編集】  
MASUKI 情報デスク  
増木直美  
大阪府豊中市上新田2-6-25-113  
TEL 090-3710-4815  
FAX 06-6835-0974  
http://mid.parfe.jp/  
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう。卒業式には「仰げば尊し」を！

## アカンで、うちら許さへんで！ 「成長する大阪の実現に向けて」、吉村知事の言葉をわが想いとし

### 大阪おばちゃんの家 設立趣意書

私たちが生まれ育った、伝統と文化に恵まれた豊かな大阪。その素晴らしい大阪を子や孫たちに残すことに異論のある人はいないと思つた。そのために微力ながら大阪府、市等に諸々の提言、働きかけ、アイディア等を出していききたい。また府政や市政において、それを阻害する一点の間の部分があつても許すことはできないことは言うまでもなく、そのことを私たち市民はしっかりと監視していきたい。

ところで、令和2年1月に行われた大阪都構想の数日前、大阪市の財政局長がマスコミ（毎日新聞）に虚偽の情報を提供したのである。そしてそれが記事になった。虚偽の情報で大阪市民は賛成、反対を判断し、住民投票を行ったのである。すなわち住民投票の公正さを妨害したのである。このことは民主主義の根幹にかかわる問題であり、法治国家を否定するところでもない所業と言つてはならない。大阪市民として到底看過できることではない。

大阪都構想賛成派、または反対派が勝ったとか敗れたとかいう次元の話ではなく、大半の大阪市民は、正しい情報による公正な住民投票での真の民意を受け入れたかった。その機会を奪った財政局長らの責任は重く、大阪市としては減給の処分を下したが、到底その程度の

懲戒で済むものではなく、大阪市民としてこのまま許すことはできない。

そのような財政局長に対し、丸々退職金（約3000万円。財政局長は3月任期満了、5月頃退職金支給予定）が支給されるという。大阪市民として到底納得できるものではない。そこで私たちはこれを機に「大阪おばちゃんの家」を設立し、大阪市に対し、住民訴訟を視野に入れ退職金の支給差し止めの監査措置請求を提出し、活動を始めた。

男性陣の参加も大歓迎。そして弊会の最初のミッションが前記、財政局長の不正を糾すことである。是非とも我々に賛同いただき、一緒に戦っていただきたい。● R3-3-15 東山潔局長の退職金差し止めを求めて行政訴訟  
第1回公判 R3-4-27 10:00 大阪地裁800号 代理人 徳永信一弁護士  
被告・松井一郎大阪市長「大阪市長は東山潔に対し退職金を支払うな」

● R3-4-9 山潔局長らを偽計業務妨害で大阪地検に刑事告発  
令和2年1月25日。  
大阪の明日を考えるおばちゃんの家

代表 谷野米子



### 編集後記

「入院レポート」ハリストは500%売名行為

頭から「編集後記」と言うのもおかしいが、編集の都合で。

半年ほど前、沖縄の宜野湾市でハリストライキがあった。たしか四日目、ドクターストップでハリストを終了した活動家もどきがいたことを記憶にあると思う。

さて、私の今回の入院（8日間）の正式名称は「メックル憩室炎」。ネットで調べると赤ちゃんがかかる病気が、あとはひたすら絶飲食。担当のミホ先生は教科書通りに治療された。脱水を起こさないよう生理食塩水を点滴し、あとはひたすら絶飲食。今日で五日目。ハリストと飲食のドクターストップとどこが違うんだ。沖縄は四日で中止。かたや、私はの日を終えた段階で、ミホ先生はニコニコと笑って「もう2〜3日頑張ったらいける（治療）でしょうね。」「先生、10日も食べなくても大丈夫なんですか」「10日位食べなくても何ともないわよ……」その時僕は思った、10日以内のハリストは全部インチキだ。件の沖縄の活動家は医者に担がれていたが、なんとバカバカしい。僕は後、何日でもドクターストップが解けるか知らないが、政治的絶食はハンガーストライキ、医療的絶食はドクターストップ。どちらも生物学的には同じじゃないか。

# 議会質問。議員。自治体等からの報告

## 尖閣周辺 海警と巡視船「あわや衝突」市議が現場の攻防語る 4/4(日) 配信 八重山日報

尖閣諸島周辺海域に出漁した八重山漁協所属の漁船「鶴丸」が3日夜、石垣島に戻った。乗船した石垣市議の仲間均氏(ト)によると、領海侵入した中国海警局船が「鶴丸」に接近しようとしたが、海保の巡視船がガードしようとして間に入って入り、ほとんど衝突寸前だったという。仲間氏は「(漁船を守るという)海保の本気度を感じた」と話した。

「鶴丸」には仲間氏ら3人が乗船し、2日正午ごろ尖閣周辺海域に到着。仲間氏によると、中国海警局の「海警6402」「海警2502」の2隻が既に待ち構えており、ただちに「鶴丸」の追尾を開始したという。



「鶴丸」は北小島、南小島の周辺を移動しながら操業したが、海警局の追尾は続いた。海警局船は一時、

「鶴丸」の距離まで接近した。海保の巡視船「ながやま」が、海警局船を阻止しようとして「衝突したかと思った」というほどの勢いで割って入ったという。海警局船は3日午後6時ごろまで「鶴丸」を追い続け、追尾時間は約27時間に及んだ。海保の巡視船が「鶴丸」のガードを続けた。「鶴丸」の水揚げは約150キロだった。

弊会最南端会員、盟友仲間議員の活動を高く評価し、敬意を表したいと思います。 M情報 増木重夫

### 夫婦別姓、核兵器禁止条約、沖縄の基地の負担軽減と尖閣問題等 兵庫県議会総務常任委員会 (R2-12-9) 徳安淳子県議

それでは維新の会の態度表明を行う。まず、第25号の請願については、選択的夫婦別姓制度について最高裁においては先ほどの説明のとおり、平成27年12月に夫婦同姓規定を合憲としながらも、この制度の採否対応については、国会での議論に委ねられている。

しかしながら、以降3年半が経過しているが国会の審議は進んでいない。その

理由の一つとして考えられるのは、各国会議員や地方議員が夫婦別姓の必要性というものを、地元の有権者の方々から直接訴えられていないのではないか。急ぎ取り上げる案件ではないという判断をされ、審議が上がってこないとも考えられる。

私自身もこれまで夫婦同姓で困っているという相談を受けたことは一度もない。世論調査で別姓容認派が多数を占めたと表現する向きもあるが、実は容認派には旧姓の通称使用容認派が含まれており、法改正をもって別姓賛成派とするには賛成を企図するための、少し作為を感じることもある。

また、請願文書内容に夫婦同姓が女性差別や女性活躍の妨げの根源であるようにも読み取れる文言が並んでいるが、基本的に別問題であり、関連付けることが本質から外れていると認識している。我が党維新の会では、この法案導入への議論を行うという見解ではあるが、夫婦同姓は家族の呼称として意義があり、社会の最小単位としての家族の保持に伝統的家族観と相まっついている。

現行の風習が変わることによる社会的影響等が懸念されており、国民の間には様々な意見もあることから、まずは議論と熟慮を重ねるべきであり、現時点においては議論が熟したとは言えず、請願タイトルにある一日も早い民法改正を求めものではないという結論に至った。よって、継続審査を主張し、採決を取らぬなら、不採択を主張する。

次に、第26号についてである。日本は世界で唯一の被爆国であり、核なき世

界の実現に向けて努力することが求められることから、我が会派は継続審査を主張する。

しかしながら、国連で採択された核兵器禁止条約については、現在の世界の核保有国からの賛同が得られておらず、核保有国と非保有国の対立もあることから、日本政府は核保有国と非保有国の亀裂を懸念して条約に署名しないという判断に至っている。この日本政府の立場に同調して、採択を取る場合は、不採択を主張する。

最後に、第27号については、我が党維新の会は、沖縄の基地の負担軽減、特に普天間基地の負担軽減と日米地位協定の見直しを従来から主張してきたので、本請願を継続して審査すべきものと考え、継続審査を主張する。しかしながら一方で、近年特に尖閣諸島の防衛と近隣諸国からの脅威が続いており、基地の縮小につながるこの本請願にはここでは賛同できず、採決を取る場合は、不採択を主張する。

### 日韓関係の日本側の違い 3/10 長崎市議 浅田五郎

こじれた原因をどこに求めるかで、日韓関係はこれだけ違うのです。朝日新聞の論調は、歴史問題で日本政府にも改めるべき点があるとして国連人権理事会で韓国政府が日本を名指しせずに「普遍的な人権問題」と



して慰安婦問題に言及したのに、日本政府が2019年の合意に受け入れられないと反発したことを批判し更に668年の河野談話にも逆行すると難

した。朝日新聞は従軍慰安婦については謝罪していたのに、教科書問題でも今回従軍慰安婦が復活したことに對しての意見はされていなかったようです。

産経新聞では、被害者は日本だと明確にしており、文大統領が慰安婦問題をめぐる2015年の日韓両政府の合意をほごにしたことや、いわゆる徴用工訴訟での補償要求が1965年の国交正常化の際の日韓請求権協定に反していることなどを挙げている。日本の新聞等考えさせられるだけにそれは自由な日本を示していると感じなければならぬのか。

領土問題、教科書問題は、国際社会から見た日中韓関係の極めて重要な課題であることを、そろそろ考えていい時代を迎えたと思います。この「口ナの人類への挑戦はまずそれぞれの民族が安心安全の立場から特に平和に戦後75年間ドブプリつかって来た日本民族に取っていい宿題を後世の日本人の為に与えていただいたと思っています。

「ひびくず」に涙…悲しい虐待を防ぎたい  
3/21 千葉県議 田沼たかし

映画「ひびくず」を、視察してきま

した。

子供を守ることに、児童虐待防止に、強い思いのある私としても、これは親なればと思ひ、奇しくも千葉劇場で上映されると知って、学生インタンさんと一緒に、視察してきました。

数々の受賞もしている作品であるだけにあり、非常に胸の痛む、考えさせられる、素晴らしい作品でした。私自身、60才歳の小さな子供の親として、どうしても感情移入してしまい、特に子供の演技が素晴らしく、我が子のように見えてきて… 終盤での別れのシーンでは、涙が出ました…ハッピーエンドで終わることを、本当に願った作品です。この作品は、育児放棄の虐待ですが、いまこの瞬間も、県内のどこかで虐待が発生しています。胸が痛みます。

断言できるのは、子供に罪はないという事です。すべて親の問題です。産んだら育てる覚悟、そのためにも共に育てる覚悟で結婚をし、働くこと…そういった覚悟、常識を取り戻し、悲しい児童虐待が二度と発生しないようにしなければなりません。なんとしても…

この作品では、異例の方法で、最終的に子供は救われましたが、やはり覚悟の問題だと思わずにいられません。虐待予防は、大人の責任。戦後失われた覚悟の問題です。私も県政で微力を尽くします。

また、一緒に観に行った、学生インタンによる感想は、以下です。

正規のやり方(児童相談所等で虐待を解決するのは難しい、もしくは時間を

がかかると、親も子ども自分達だけでは虐待から逃げることはできない。虐待の連鎖。自分だったらどう虐待に向き合おうか

・子供のケアだけでなく親のケアも重視  
・親子を孤立化させない、近隣同士での気づき合いや助け合いを促進

もし周りに虐待されているかもしれない子がいてどうにかしたいと思ったら最後まで責任を持って向き合いたい。

シルバー川柳 第三弾  
「悪徳不動産屋の独り言」より  
3/20 東京 坂口久夫

- 日帰りで行って見たいな 天国へ
- 延命は 不要と書いて 医者通い
- 三時間 待つて病名『加齢』です
- 目覚まし のベルはまだかと 起きて待つ
- 改札を 通れず よく見りや 診察券
- 誕生日 ロウソク 吹いて 立ちくらみ
- 万歩計 半分以上 探し物
- この頃は 話しも入れ歯もかみ合わず
- 目には蚊を 耳にはセミを 飼っている
- 留守電に『ゆっくろしゃべれ』とどなる父
- いい夫婦 今じゃどうでも いい夫婦
- マイケルの 真似を 発作と 間違われ
- 名が出ない(あれ)これ(それ)で用

を足す

- 探し物 やっと探して 置き忘れ
- 歳重ね もう食べられぬ 豆の数
- 「FID 使い切るまで ない寿命
- クラス会 食後は薬の 説明会
- 立ち上がり 用事忘れて また座る
- 無農薬 こだわりながら 薬漬
- 妖精と 呼ばれた妻が 妖怪に
- 眼薬を 差すのになぜか 口を開け
- 少ないが 満額払う 散髪代
- 景色より トイレが 気になる 観光地
- 厚化粧 笑う亭主は 薄毛症
- カード増え 暗証番号 裏に書き
- 妻旅行 おれは入院 ねこホテル
- 恋かなと 思っていたら 不整脈
- 深刻は 情報漏れより 尿の漏れ
- へそくりの 場所を忘れて 妻に聞く
- これ大事 あれも大事と「ミ」の部屋
- 腰よりも 口につけたい 万歩計
- 何回も 話したはずだが『初耳だ』
- 婆さんよ 犬への愛を 少しくれ
- 「三時間 待つて病名『加齢』です」…、解かるわあ。なんでも「加齢」で済むなら医者など要らんだろ。私も「まあそれなりにお歳ですから、あちこち悪くなくても不思議ではありません」と言われたことがある。「治っくねぬ気が無いなら医者なんか辞めろ、診察代は無料(こころ)」と言った。

# 自信を持ちつつ、一歩前進に聞かせたい話

SBSラジオ同朋局記念

## ドーバー海峡海底トンネルプロジェクトの意義

R2-2-19 神戸 小石原健介

### 自己紹介

小石原健介と申します。歳は今年の一月で79歳になりました。私は39年前になります。昭和の1年1986年7月、川崎重工が受注したフランス側海底トンネル掘削機プロジェクトの現地所長としてプロジェクト遂行の指揮に当たってまいりました。

まずこのプロジェクトはどのようなプロジェクトかその概要を教えてください。

このプロジェクトはフランス側サンガットとイギリス側シエイクスピアクリフを結ぶドーバー海峡の海底部38km、海岸線からターミナルまでの陸上部12km、総延長50kmのトンネル工事です。1989年(昭和64年)2月フランス、イギリス両国事業認可条約締結により事業はスタート、同年5月に工事が着工された。2本の鉄道本トンネルと一本のサービストンネルからなる。海面下100mの大深度を長距離掘り進むという厳しい技術的要求、自然条件と闘いながら、所定の工期を8か月短縮してトンネルを貫通させ、1994年(平成6年)5月に開業した。着工から僅か8年で欧州200年の夢を実現させた20世紀最後のビッグプロジェクトと言われた。

このプロジェクトの特徴と意義について詳しく紹介してください。

何と言っても日本が歴史上、経済力、技術力で絶頂期にあったジャパンプラスワンバートンネルと言われた時代を象徴するプロジェクトであると言ったことが出来ます。

このプロジェクトを受注した昭和の1年(1986年)当時の日本状況について、日本のGDP(国内総生産)は世界百九十一か国中アメリカに次ぎ世界第二位の経済大国であり、また国際競争の総合力評価では1980年代から90年代前半にかけて日本はずっと首位の座にあった時代です。まさにジャパンプラスワンバートンネルと言われた時代でした。

当時に比べ現在の日本の状況についても説明ください。

あれから34年、昨年度の国際競争力ランキングで日本は93か国中30位です。この現状について信じられないと思われる方もいると思いますが、首位はシンガポール以下香港、米国と続き、アジアでは中国が14位、台湾が19位のほかマレーシアが22位、タイが25位。韓国が28位と日本より上位に入っています。日本が最も順位が低かったのはビジネスの効率性で45位だった。さらに、企業家精神、国際経験、企業の意思決定の機敏性などは、93位と最下位の評価でした。平成に入り日本は失われた30年といわれ、その地位の凋落に歯止めが利かない状況にあります。果たしてシニア世代も含め日本国民はこの現実を

認識しているでしょうか。

日本の国際競争力が首位にあった時代を象徴するドーバー海峡海底トンネルプロジェクト遂行の実践からその原動力としてはどのような点が挙げられるでしょうか。

まず第一点として財政支援英仏両政府は公的な財政支援を一切行わず、総額二兆円に上る巨額の建設資金をすべて民間資金だけで賄ったという特徴があります。この資金集めには、個人の投資家も含め世界中の100万の出資者から資金の調達を行っていました。当時、日本は経済の絶頂期であり、邦銀36行が横並びで当時の為替レートで4300億円の巨費を出資、これは全体融資額の20%を超え、個別シェアは日本が最大の出資国となった。

一点目は日本の技術力です。イギリスが自国の技術の掘削機を使用したのに比べフランス側は当時世界最先端の技術力を誇る日本の掘削機を採用したことです。しかもこれはターキーと言われる現地工事ならびに試運転すべてを含む契約形態が採用された。ヨーロッパ先進国が外国の企業にこうした契約形態を採用したのは極めて異例であった。

このプロジェクト最大の課題については何だったでしょうか

最大の課題は『トンネルをいかに早く掘るか』ということでした。その結果、着工から開業までの工事期間を可能な限り短縮して、早く資金を回収し、莫大な金利負担を少しでも軽減させるというもので、これは象徴的な市場原理主義に基づくプロジェクトであった。この熾烈な時間との闘いは、工事の着工から貫通まで1日24時間、1年365日1日の休みもない前代未聞の厳し

いものであった。結果として二本のトンネル着工から僅か2年のか月で所定の工期を8か月短縮してトンネルを貫通させた。ちなみに青函トンネルは着工から貫通まで16年の歳月を要している。

このプロジェクトがもたらした成果についてはいかがですか

ドーバーでの高速施工の切り札は、最新鋭の掘削機械の導入で、そこに日本の最新技術が採用された理由がある。ちなみに青函トンネルは、岩盤に孔を開け、発破をかけ、スリを出し、支保工を組んでいく、いわゆる在来工法で、着工から貫通まで10年、さらに開業まで実に24年の歳月を要している。これに対してドーバーでは、最新鋭の掘削機械を使って、トンネルの掘削に2年のか月。そして1994年(平成6年)9月、開業式が行われた。着工から開業まで僅か8年という驚異的な短工期でヨーロッパ二百年の夢を実現させました。『存知のようにこのイギリスとヨーロッパを結ぶ鉄道トンネルの開通は、EU統合に大きな役割を果たしました。ところが今年に入りイギリスはEUを離脱し大きな歴史的な変化を感じます。』

この最新鋭の掘削機が導入された最新工法について具体的な内容について教えてください

これはトンネル掘削の1つのプラットフォーム設備であり、その先頭車輛に直径8.7m硬軟両地層に対応できるカッターを持つ掘削機が、それに続いて運転操作を行うガントリと呼ばれる2号車輛、さらに電気油圧、ポンプ、裏込め車輛、セグメントピックアップ車輛などそれぞれの機能を持つ全長250m、14軸の作業車が連なる。

一種のプラント設備で全体の作業車輛が通過すれば掘削したトンネルの内面をコンクリート製のセグメントが内張りされてトンネルが完成して行く最新工法が採用された。具体的な青函トンネルとの比較について教えて下さい

トンネル延長	49km	54km
海底部	38x3	24x3
海面よりの深さ	100E	240E
着工	昭和の1年	昭和39年
先進導坑	昭和58年	昭和41年
本坑トンネル貫通	平成3年	昭和60
開業	平成の年	昭和63年
工事期間	8年	24年

世界が注視したイギリスとフランスのどちらが早くトンネルを掘るか、両国の威信を賭けた競争の結果はどうなったのでしょうか

日本製の掘削機を使用したフランス側は掘削の中間点の1kmからイギリス側へ1号機、2号機それぞれ20km、16kmと大幅に掘り進み勝利した。事前の約束により敗れたイギリス側掘削機は両機が出会う1km手前で地中に潜り永久に埋殺しとなった。かつての大英帝国は屈辱を味わった。

このプロジェクト成功の要因についてどのような点が挙げられるのか解説して下さい

第一に日本人への厚い信頼感。当時の日本人は欧米人からの信頼と尊敬を得ることが出来た。同時に日本人は使命達成へ向けてのモチベーションが極めて高い。これは日本人本来の気質である真面目で、粘り強

い、決して最後まで諦めない。また日本人は欧米人に比べ必要があれば、契約範囲や職責を越えて行動する。

次に日本人は国家や企業への忠誠心、集団として強い団結力、集中力が火事場の底力を発揮できた。この点は契約から僅か十三か月半で設計、製作、組立、試運転、所定のセグメント組立を行う異例の短工期を可能にした、極めて高度なプロジェクト遂行能力と技術力。さらに掘削開始初期における激しい湧水との闘いを克服できたことがあげられる。

次に一番苦労された点は何だったでしょうか

やはり何と言っても主要設備である電気設備や油圧設備をはじめ約半数の設備をフランスを中心にドイツ、イギリス、スイス、オランダなどの30社を超えるメーカーから調達を行ったことです。このため発注品の納期や品質管理には責任者である私をはじめ卓越したフランス人スタッフとの国際協力を忘れてはなりません。フランス人技術者との濃密な人間関係とりわけ日本人チームの強力な助人として大活躍をされたフランス人マイケル・シラルディさんからトンネル貫通時に寄せられた。メッセージには、次のように記されてきました。

『何世紀もこの夢の実現のために、現代におけるかような冒険にかかわり、共に一生懸命に働いた全ての人々のために!ここに神に感謝し、人間の意思を讃えます。』

プロジェクトから得た教訓として何かあれば

一つは市場経済原理主義の破綻だと思えます。具体的には開業から僅か10年後の2007年(平成13年)5月、事業主の工

10トンネル社の鉄道事業は、1兆5000億の負債により経営破綻した。その業務を引き継いだ新会社「グループ・ユーロトンネル」の再建策では、大口債権者の債権放棄など91億ユーロ(1兆5000億円弱)に上る債権の54%を削減した上で業務

は新会社に引き継ぎつづがれた。最大の融資元の都銀、地銀を中心とする邦銀勢は、融資全体の20%を占めていたが、日本で金融危機が表面化し、海外不良債権の早急な処理を余儀なくされ、邦銀各行は債権を額面の半値以下で欧米銀へ売却し、確定させた損失を償却した。原因はフェリー便の予想外の健闘や航空各社の低価格攻勢で、当初計画の半分以上に上る利用者数の劇的な増加は見込めなかった。こうした結果からこのような巨大インフラ事業への市場経済原理主義は破綻した。やはりこうした事業には公的費用の投入は不可欠であることを立証しています。

もし日本での事例があれば教えてください

この点については、ドーバーと同じく巨大な民活事業で相前後して実施され平成の年(1964年)6月に開港された関西国際空港では、総工費一兆四千億円を、この事業費回収計画から逆算された、開港時の航空機着陸料は100万円を超えるものでした。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。

これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。

これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。これは当時、世界のハブ空港と呼ばれた。

2007年(平成13年)5月、事業主の工

現在とは異なり、当時の指導者層は、戦前、戦中の教育を受け本来の伝統的日本精神を受け継いだ者が占めていたと思えます。同じく実務の中心層も日本人の伝統的な誇りや旺盛な国への祖国愛を持つ人材が占めていました。現在は急速な高齢化と少子化が進み当時とは環境が異なる言ってしまうえば、それまでですが、

人材育成について戦後の教育制度が果たして良かったのか。私たちは令和の新時代を迎え、国民一人一人が日本人の原点に立ち返ってドーバー海峡プロジェクトで発揮された日本人から失われた国旗や国歌の尊厳、祖国愛など、本来の日本人が持つべき優れた気質、日本精神や日本人としての誇りを取り戻さなければならぬと思えます。

まず、小石川様と知り合えたことを誇りに思えます。「俺の友達にな・・」もう勝手に友達です。さらに5か月もしたら「親戚」です!! 冗談をさておき、このような話を教科書に乗せなあかんのですよ。偉人伝は何も昔の人だけじゃないんです。現代にも、世界に誇れる偉人がいるのです。士木の世界にノーベル賞があったらと思

います。女王陛下の鼻を明かしたことは痛快ですよね 増木

各位。各団体等からの報告。ご意見

同性婚訴訟 札幌地裁判決について

2021/03/20 弁護士 徳永信一

弁護士会も違憲判決だととりあげて沸いています。慎重派も少なくないはずですが、僕のほかに、声をあげる弁護士はいません。

裁判所が作成した判決要旨を入手しましたので添付しましたが、判決は原告側の完全敗訴です。その過程的な判断において違憲だということを行ったわけですが、この判断は、判決を導く上で必要不可欠な判断とはいえないという意味において傍論であり、憲法判断に関するブランドイスルールに照らし、憲法判断とはいえないものです。

高裁で控訴棄却となれば100%となります、原告も被告も、最高裁に判断を求めることはできません。

また、これを勝訴というのであれば、沖縄集団自決訴訟の控訴審判決も「軍命令は事実としての証明がない」とした大阪高裁判決も立派な勝訴判決ということになります。左派リベラルは、こうした宣伝戦において強みを発揮します。

僕は、婚姻制度は、女の腹から生まれてくる子供の父親を決定し、その養育に対する責任を決定することを中核とする制度だと考えています。男系と家を継承するための制度です。婚姻という制度がなければ、男は、あっちこっちで種をばら撒いて、後

のことは全部女に任せたといいことになりかねません。なにせ、種をまいてから生まれるまで10月10日もかかるのです。男には誰の子か分かりません(今でも、DNA鑑定がありますが、思っていたのとまったく異なる結果が多くて驚くことは多々ありました)。婚姻という制度によって子供の種を提供したと想定される男が父親としての責任を負うわけです。

婚姻制度の中核が子の養育と社会の承継にあるという考え方にたつと、本来的に子供を前提としない結合に、婚姻という名目をもって経済的ないし社会的な保護を行う必要はないということになります。こういうと進歩派は必ず、男女の婚姻でも子供できない人たちがいる、中にはあえて子供をもたない意思で結婚するカップルもいると反論してきますが、それは、婚姻という制度のフリーライドであり、結果的に子供ができない夫婦もいることを想定して制度の外延を広げているだけなのだと思えるべきものです。

子どもを想定しない男女カップルを前提として論をたてることに、病理現象をもって制度を立論するという本末転倒の議論があります。例外はあくまで例外として捉え、個別具体的に合理的な対応をとればよいのですが、同性婚を婚姻の制度に含めることになれば、それこそ制度の根本が変わってしまいます。

将来、少子化問題が、日本だけでなく世界的な問題になります。子供をつくる

えでも、婚姻を奨励し、保護する政策が増えてくるでしょう。その時、子供を産まない同性婚にまで制度を拡大するのは、制度の過剰負担となって跳ね返ってきます。一時の時代的な流行に流されることで、制度の本旨を見失うことがあってはならないと考えます。

同性婚訴訟 札幌地裁判決について(2) 2021/03/21

婚姻は制度であり、婚姻制度の中核は子孫の養育にあります。そのことを忘れて何がなんだかわからなくなり、婚姻が子孫の養育と社会の承継を中核とする制度であるという根拠を補強する1つの例をあげます。それは、近親婚の忌避です。

民法は、3親等内の婚姻を認めていません。親子間、兄妹間、叔父姪は結婚できないのです。愛し合った2人が、実は異母兄妹だったというのは少女漫画的悲劇の定番です。民法が婚姻を認めているのは従兄妹からです。これはなぜですか。

異母兄弟であっても、そこに愛情の絆があつて性的関係を含む結合があつても、子供をつくる気がなければ、別に忌避する理由はないはず。子どもの養育と社会の継承を制度の中核に置かなければ、これを説明することはできません。それとも兄妹婚の禁止も違憲だということになるのでしょつか。札幌地裁判決は無茶苦茶です。

徳永弁護士から、一言あると思ったが、やっぱりあったか！ マスキ

白鵬よ横綱としての晩節を汚すなかれ

03.17 政経調査会 榎泰智

横綱としての名譽・品格に触れて過去に横綱故に引退を余儀なくされた力士への想いを語ったが、これは直近で言えば稀勢の里を脳裏に浮かべての発言であつたのかと私は推測する。横綱故に負け越す訳にはいかない。協会の看板力士故に相撲ファンへの期待にも応えなければならぬ。長期間に渡り土俵を留守にはできない。稀勢の里も横綱でなければ1年間で同じくくりと休んで傷を癒し、土俵に復活することもできたのだから。

しかし、全力で相撲を取り結果を残したが故、自らが手を挙げた訳でもなく横綱の地位に押し上げられて土俵を去る事となった。

横綱としての実力は充分であつた照ノ富士。大関の段階で両膝に負った怪我により休場を繰り返し序二段まで転落したが、怪我を克服し大関の前まで復活してることができた。

両者をもみても分かる通り、横綱と大関以下の違いは雲泥の差がある。

そう考えると白鵬の度重なる休場に納得できない関係者・相撲ファンは多いはずだ。

「横綱でもない私が言つと、「などと謙遜しているが舞の海氏の発言は重い。角界では現役時代の地位が後々

でもモノを言うと言われるが、あの小兵で三役まで登り詰めた実績は不断の努力なくしては成し得ない。その意見に対し白鵬は真摯に耳を傾けるべきだ。近年の立ち合いにおける肘撃ちともとれる力チアゲなど見苦しい。年齢を重ねると共に体力は低下してくる。それでも横綱は勝ち続けなければならぬ。故に正攻法以外の策を講じる必要がある、とは白鵬の考え方。

しかし、横綱は単に白星を重ねれば良いという訳ではない。その内容に綱の持つ重み、品格が兼ね備えられねばならない。横綱としての相撲が取れなくなつたならばそれが潮時なのである。ベッドに縛りつけられて胃瘻や点滴によって延命措置を施すのも人生。尊厳の備わつた人間としての寿命を悟り、潔く幕を閉じるのも人生。どちらを選択するのも個人の自由ではあるが、相撲は国技であり神事である。

横綱としての品格とは代々二人の横綱が築き維持してきた結果としてここに存在するのである。白鵬よ、今が貴殿にとっての寿命なのだよ

**「徴用工問題」日本は「ミリも譲ってはならない」**  
2021.01.19 東京 松木國俊  
「やまへ新聞」より

「コロナ騒ぎの陰で、いわゆる「徴用

工裁判」で韓国側に差し押さえられた日本企業の資産が売却されようとしている。日本政府が再三「韓国政府の責任で解決せよ」と促しても、文在寅政権は「司法の決定を尊重する」と他人事のような回答を繰り返すばかりだ。立て続けの失政によって文大統領は八方塞がりになっている。最低賃金を二年間で20%引き上げたために、たまりかねた自営業者が人減らしに走り、若年失業率は実質25%に達した。頼みの輸出も昨年10月は前年同期比89%減少し、回復の見込みはない。その一方でマンションなど不動産価格は3年間で30~50%上昇し、バブル崩壊が目の前に迫ってきた。加えてコロナウイルス拡大で社会的混乱が拡大し、あれほど恋慕した北朝鮮からは見捨てられ、本年初頭の時点で文大統領の支持率は就任以来最低の34%まで低下した。今や文大統領に残された道は、国民の反日感情に訴える以外になく、日本から金をむしり取って民心を繋ぎ止めようとするだろう。

日本は歴史問題を持ち出せば何でも言うことを聞いてきた。今回は「日韓が未来志向の関係を築くために、徴用工問題をめぐって共に知恵をだそう」と日本に持ち掛ければよい。すると日本のテレビ番組では軽薄なコメンテーター連中が、良識派を気取って韓国を擁護し、左翼の大手マスコミも韓国を代弁していく。だ。文在寅はそのように踏んでくる。

しかし徴用工問題は外交的にも韓国国内でも完全に解決した問題である。

ここで日本が新たな交渉に応じれば、その瞬間に「補償問題は解決済み」という日本の立場は崩壊する。そして韓国の最高裁が下した「不法な植民地支配に対する慰謝料を払え」という判決が生きてくるのだ。日本統治が「不法な植民地支配」であれば、日本統治時代の日本人によるあらゆる行為が訴訟の対象となるだろう。大戦末期に行われた徴兵も強制連行であり、朝鮮総督府が朝鮮人から徴収した税金も不当な収奪となる。「創氏改名」で名前を奪われ、民族のプライドを傷つけられた、朝鮮語を奪い日本語を強要された等々、韓国が勝手に歪曲した歴史観に基づいて、「被害者とその遺族」は補償金や慰謝料をいくらでも請求できることになる。その額は天文学的数字となり、日本は永久に韓国の「金づる」になるのだ。それこそが文在寅政権の最終的狙いではないか。文在寅政権の狡猾な魔手から日本を守り、誇りある国を子々孫々に残すために、すでに解決済みである「徴用工問題」で日本は韓国に「ミリも譲ってはならない」。

「ミルクロンもダメだ！ マスキ

**「令和3年4月9日眞子内親王殿下ご結婚について」**  
「今更聞けない皇室の基礎知識」やまへ新聞  
2021.04.08 埼玉 村田春樹

本誌2年12月号・3年1月号・2月号

と眞子内親王殿下のご結婚について述べた。このご結婚問題つまり小室母子問題については、保守業界の尊皇家は皆内心は大反対であろう。しかしあまり公には語られない。要は不敬にわたるから静観するということなのだろうか。私はやまと新聞のこの三ヶ月分に旗幟鮮明に賛成論を書かせていただいた。

この三ヶ月分の原稿をやまと新聞を読んでいない知人数人に郵送したところ、一人の女性から「勇気あるご発言に敬意を表します。」との書簡を頂戴した。たしかに今の保守業界で「賛成」するのには勇を鼓舞さねばならない。他の方はすべて黙殺、きつと不愉快だったのだろう。

さて某尊皇愛國団体の機関誌の二月号に、畏敬する某氏がこの問題について論陣を張っている。私より遙かに知的で尊皇心も強く、心から尊敬申し上げているお方なので、注意深く拝読した。なんと私が某政党的機関誌「月号」に書いた拙論「眞子内親王殿下ご成婚万歳」に激怒して筆を起した、とある。そのご高説に、本欄を借りて反論ではなく感想を述べさせてください。

某氏は『小室母子の間』と題した章で、母子の「罪状」をこれでもかこれでもかと書いている。曰く「贈与税不払い」あの400万円は借りのたものではない贈り物である。母子が主張するなら、贈与税を払っていないのではないかとこのものだ。こいつのを重箱の隅をつつくというか「因縁をつける」というのではないだろうか。そもそも私は小室母に400万円を貸したという元愛人に不信感を持っている。さらに彼に不信感を持たない人にも不信感を持つ。



# 樋口中将のキスカ島撤退

## 4/16 大阪 伊藤泰博

先日、「百人の会々」を有り難く拝見致しました。

樋口中将の「ハルピン特務機関長時代のオトポール事件」

「ソグチルトでユダヤ人救出」

「第9方面軍兼北部軍管区司令官時代の終戦後の対ソ連占守島、樺太防衛戦」

「北方軍司令官時代」

「シゲ号作戦キスカ島撤退」

昭和18年7月26日、日本海軍がアツシ島玉砕で窮地に立った。米軍の海軍艦隊が包囲するキスカ島から駐屯する日本陸海軍将兵約5200名を全員撤収させた作戦。後に米軍に「奇跡の作戦」、「パーフェクトゲーム」と言われた。

① 第一水雷戦隊が担当

米軍の海軍艦隊が包囲するキスカ島に包囲網をかくくって潜入し全員救出するため必死条件の一つが撤収作業の許容時間一時間厳守。その為には揚陸専用の大発(小型舟艇)22隻に収容人員各約1200名を乗せ2往復



が必須条件となっの難関は各兵員が携帯する命より大切な菊の御紋章が付いた

68式(サンパチしき)歩兵銃。海軍から銃を放棄を求められた陸軍は「陛下からいただいた銃を捨てられるか」としびれた。陸海軍合同会議では決着がつかず、話を聞いた陸軍北方軍司令官の樋口中将は

「やむを得ざる場合は放棄するを得」と「兵器放棄命令」と言う重大な判断を独断で裁可。銃は、10キロ×5200丁の2トン・・・上陸用舟艇は大体6トン濟みのため、6隻分。時間オーバーで作戦失敗の可能性大。

④ 後日談

映画「キスカ」では大発に乗り込んだ将兵が68式歩兵銃を我先に海に投棄する場面が印象的に描かれていました。「キスカ」は②、④回見ました。樋口中将がのりいたら、先の大戦も結果は大きく違っていたかも。 マスキ

# やうげ切ると！我が国を守る基本・蒙古襲来に学ぶ

## 3/30 京都北山の宮司 中村重行

周辺敵国が領土拡大や内政干渉を露

わにしている我が国の防衛を考える上で大切なことは一寸の領土、国民一人の命も奪われたいぞ、と言う気概を内外に示すことだと思えます。

戦前の失敗の一つは他国との軍事協定によって戦艦や戦艦機、兵員の数など協定によって制限を受け入れてきたことも原因していたと私は思います。今も世界は核兵器や研究、実験で他国を制限しながら自国の拡大を図っているのを見ると世界は騙し合いの中で進んでいることがわかります。専守防衛を守らされている我が国の防衛は攻撃を受けて犠牲者が出てからしか反撃できないと我が国の国民も政府も信じています。野党や左翼の中には未だに軍隊を持つことに反対し、隣国の日本侵略を助けてやっている売国奴も大きな顔をして日本国民を名乗っています。

「対馬・吉岐の男性のほとんどは殺され、さらに女性や子供は手に穴を開け、そこをひも通して船に鎖のように結ばせました。」この一文は何なんでしょう？元寇の時の隣国の侵略の時の史実です。まず一番朝鮮半島に近い我が国の対馬・吉岐に上陸した元とその先兵になって攻めてきた朝鮮軍によっての惨殺の模様です。

大東亜戦争末期アメリカ軍による本土爆撃や広島長崎に投下した原爆による国際法上禁止されている民間人の虐殺など多くの経験を経てきた我が国は未だに他国の信頼の上に日本の平和が保たれている等という。嘘話を信じさせられて生きているノーテンキな国民性。本気で国を守る事を考えるなら「専

守防衛」では守れないことは明白です。何しろ周辺国は虐殺を平気でやる国(国民)ばかりだからです。もちろんアメリカも。

昔から軍隊・軍人の強い国(昔のイギリス、フランス、日本など)には騎士道や武士道が育ち、弱い者いじめをするのは卑怯だという精神が育まれてきました。正々堂々と戦う、嘘や卑怯な行為はしない、弱い者いじめをしない、約束(協定)は守る。のが常識でした。このような基準で周辺他国(他国民)を見てきたらどうでしょう？。そして、その基準で戦後の我が国、我が国の政党、自分の周囲の人達、自分を見てきたら「ポーッと生きていられない」世の中になってきたのを実感します。

嘘をつくのは悪いことだ、嘘つきは泥棒の始まりだ、弱い者いじめは卑怯だ、などと子どもたちに堂々と教える私が育った戦前の日本の昔が懐かしいですね。弱虫は嘘をつかねば切り抜けられなかったのです。弱虫は他人の物を盗まなければ生きて行けなかったのです。弱虫は川にハマった犬を叩くことしか快感を得ることができなかったのです。「上に入つらい、下をイジめる。」こんな国民に子孫がならないために今こそ強くならねばなりません。

「孫子の兵法」こそ弱虫の兵法だと私は軽蔑しています。弱虫が勝つ卑怯な手口を教えているからです。経営者までがバイブルのように有り難がる姿が今の日本の経済を表しています。騙



し合いの末は自分も最後には騙されて終わってしまった。日本一の大企業が外国に吸収される姿を見るにつけ、騙し合いには日本人は向かないと言っ事です。

周辺国は軍事力は大きくなって本質的には弱虫国家なのです。そのことを考慮しなければ日本が、日本人が弱くなれば必ず隣国の侵略（今は内部からの侵略ですが最終的には軍事侵略）を受けます。チベットがウイグルが南モンゴルが隣国の侵略に屈したように、明日の台湾、明日の日本もその時期が迫っているのです。

昔から「皮を切らせて、骨を切る」という言葉もありましたが一人の犠牲も出さない覚悟と対処が大切で、一皮も、一人の軍人（今はまだ自衛官）も切らせない防衛計画。それは、「寄りば切るぞ！」の覚悟です。侵略の意図を持って近づいてきた敵を打つ覚悟と対処しか国民と国を守ることは出来ません。私の言うことは過激だ、右翼だ、とよく非難する人がいますが、ならば、一皮も一人の日本国民を切らせない方法を提示すべきです。

# 第一次安倍内閣が導入した教員免許更新制

3/10 東京 金子宗徳 Fp

その時々で求められる教員として必

要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることを目的とするものだが、制度創設から10年が経過し、制度設計の歪みが出てきているようだ。

具体的には、更新制採用以前に免許を取得した教員は55歳・45歳・35歳の時点で更新の講習を受けるが、35歳で更新した教員が55歳を迎える時期を迎え、更新せず退職の道を選ぶ教員が増える可能性が少なくないという。

代わりに正規教員の新規採用を増やせばよいと思われるかもしれないが、子供の数が減少しつつある中で正規教員の採用は手控えられる傾向にあり、35歳以上のベテランが嘱託として働くことが期待されている。

こうした雇用を巡るギャップを補うべく、更新制が採用される以前に35歳以上であったために旧来の永久免許を有する、35歳以上の教員を嘱託として雇う学校も出てきたという。このまま行くと、70代の教諭が小学校の教壇に立つということになりかねない。

更新に伴う講習は30時間程度のもので、日頃の研修で代替可能なものという声もある。

わが国の次世代を担う子供たちの教育に関わる大問題。この場を借りて、皆さんの御意見を伺いたい。

# 曾野やんの「ぶつぶつ」 R3-4/8 東京 曾野豪夫

最高裁、那覇市管理の松山公園にある儒教施設の久米至聖廟（孔子廟）に市が土地を無償提供しているのは違憲と認定した（2月24日）。ぶつぶつ子がかねてから豊臣徳川両政権による「伴天連追放令・禁教令」は「起承転結」の「結」である。日本は世界に対してまず「起」を広報するべきである、この主張をしてきた。

「長崎2の聖人像」の施設に国や長崎県市が公費を支出しているのかどうか、かねてから考えてきていたが、どうなのだろうか。

2 高校教科書検定：2021.03.31. 各紙

① 従軍〇〇は名誉ある称号だった。

② 朝鮮人強制連行70万人の嘘を吹聴する。賢者達

① について、従軍僧、従軍神父牧師、従軍医師、従軍看護婦、従軍記者、従軍作家、従軍画家、従軍音楽家…

皆、誇りを以て国家と国民に尽くした人々だった。「従軍慰安婦」なる戦後の造語が流行った頃、当時のマスコミ人政治家、文部省官僚、教科書執筆者、教科書出版社経営者などは、自分の両親おじおば祖父母に聞けばそのような言葉が戦前戦時中なかったことがすべに分かるのに、それを怠った。又は身内の言葉を信用しない。賢者、だった、と

思われる。  
② について、「朝鮮人強制連行70万人説」は、徴用令に対する甚だしい曲解である。朝鮮人に徴用令が適用されたのは、日本人よりも半年後の昭和16年6月からだった。翌20年6月には対馬海峡はアメリカの機雷網とアメリカ潜水艦遊弋のため、関釜連絡船は運航を中止せざるを得なかった。その歴史的事実を声高に言った識者はいたのだろうか。

ぶつぶつ子は、敗戦時国民学校の年生だったがそのことを知っていた。日本は負けるな、と密かに感じた。そして、連続して本州大空襲が始まった。朝鮮半島から、強制連行70万人について謝罪を繰り返した当時の偉い人達。殆どは三途の川を渡られただろうが、ちよっと考えたら素人でも分かる。700000人・10ヶ月・1ヶ月・12万人・30日・1日当たり4000人。

敗戦直前の日本に、朝鮮半島から日本に毎日々々乗客1000人を乗せて送る船舶4隻も、燃料も、食料もなかった。帰りは、何を載せようとしたのだろうか。全く常識のない無定見無節操無能な指導者達だった、いや目的意識をもった「賢者達」だったのだろう。：と今でも夢にうなされることがある。そして考える。賢者達の結果はいつ出るのだろうか。いや、もう出たのだろうか、と。

現在の日本の教科書会社経営者と現代史執筆者と文科省の然るべき人達は算盤を、いやパソコンを弾いては

しい。

⑨ 首相報道官「…回答を…」で公開させて頂きたいと思ひます」  
9月9日、菅義偉首相による新型「コロナ感染症会見。最後に指名された男性記者の長々とした質問に、辟易とした。今後「くカメラは、質問趣旨を国民に理解させるために、質問者の顔を「しっかりと」放映してほしい。」  
ところで会見室に「女性記者」は何

割位いたかな？ 会見の締めくくりで報道官は、「拳手をされている方は各社へ問をメールで送って下さったらい…」  
「」で公開致します」で充分である。「」  
「さて頂きたいと思ひます」には「しないかも知れない…」との含意がある。これはお見合いのあと「いま、直截に断ると相手なり仲人さんに悪いから取りあえず間接話法で…」  
との日本の美徳の表現である、がいつも気になる。

# 「空の神兵」って何？

空の神兵 顕彰会会長 奥本康大  
2021.03.08 やまの新聞より

「わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を行んで国を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略に力をつけて、多

くの国々、とりわけアジア諸国の人々に對して多くの損害と苦痛を与えました。』  
「だが、未だに日本人だけでなく近隣諸国に大きな誤解を与えている村山富市氏のいわゆる「村山談話」の一説である。

昭和天皇の発せられた「開戦の詔勅」を村山富市氏は読んだこともないのか！と問い質したい。マッカーサーですら戦後、日本は悪くなかったと証言しているにも関わらず、村山富市氏は癡言のような発言をして、自分がおこなった「大罪」に気が付いていない。それをマスコミは大東亜戦争の真実を検証することもなく、事実のように立して、反日日本人という厄介な集団を生み出している。この為、日本人の多くは自虐史観の僕となり、戦後七十年も経過しているにも拘わらず、未だに近隣諸国に媚び諂っている悲しい国家である。

大東亜戦争は、日本の自存・自衛だけではなく、アジア諸国の植民地からの解放、人種差別的撤廃を大義とした正義の戦争であった。しかし現在に至ってもアメリカの洗脳から自覚めない多くの人たちがいるが、これが嘆かわしい日本の現実である。現在において大東亜戦争を正しく教える教育はされていない。これでは、ますます日本人は廃退し、中国の属国になっても不思議ではない！

後世に日本の輝かしい歴史を正しく伝えることは、現代を生きる我々の責務である。特に大東亜戦争の歴史を愛する転換点となった陸軍落下傘部隊の「パレンバン奇襲作戦」を伝えることは意義深いことと考えている。

今回、貴重な戦闘の一次資料に加え、子供でも学べる歴史漫画との合体本として、

（林ハート出版より出版することになった。昭和天皇は、戦後「大東亜戦争は石油で始まり石油で終わった。」と述べ懐かれたが、「石油」確保に日本の命運を託されたことは容易に想像出来る。

昭和天皇が発せられた「開戦の詔勅」にもあるが、当時はブロック経済であり、日本は「石油」を絶たれたら経済は立ちどころに衰退し、失業者が約千万人から約千二百万人出ると予測されていた。  
「石油禁輸」により、日本は「自存と自衛」の為、断腸の思いで開戦に踏み切ったが、もし開戦に踏み切らなかつたら日本はどうなつたかである。間違いなくアメリカの植民地になつたか、欧米列強に分割統治された筈である。日本にとっては、石油は喉から手が出るほど必要なものであった。

戦前、満洲や樺太で石油の採掘を試みたが、日本の消費を賄いきれるものではなかつた。当時の石油輸入依存率は、現在とほぼ同じ約九割以上であった。（大半をアメリカと蘭印東インドからの輸入）また大東亜戦争直前の、日本の石油備蓄量は七百七十万トンで年間石油消費量五百万トンの一・五倍程度でしかなく、戦争に突入すれば、一年程度で底をつくことが判っていた。この為、日本は当時の世界屈指の石油基地であったオランダ領東インドのパレンバン地区に狙いを定め、昭和十五年末頃から奪取作戦を練っていたのである。

陸軍落下傘部隊は、開戦間もない昭和十七年二月十四日にパレンバンに奇襲攻撃をかけた。その結果、たった一日でパレンバン飛行場と二ヶ所の製油所（スタンダード、ロイヤルダッチシェル）を制圧するといつた離れ業を成し遂げた。

パレンバンでの大戦果で得られた石油（最大能力での生産（約六百万トン））により、日本は一年程度で連合国に降伏することなく、三年八ヶ月も戦うことができたのである。その三年八ヶ月間に、アメリカはじめ連合国は日本軍将兵の強さに震撼し、「日本軍とは二度と戦いたくない」と言わせしめたのである。

戦争を早期に終結させたいアメリカは、国際法のハーク陸戦条約を破り、非戦闘員に向けて無差別攻撃を仕掛けるようになったのである。大都市を焼夷弾により焼き尽くし、多くの老人、婦女子の命を奪つたのである。拳銃の果てには原子爆弾を使用し、広島、長崎の二十数万人もの非戦闘員の命をも奪つた。更に、自らの悪事を隠蔽するために極東軍事裁判（通称、東京裁判）まで開廷し、事後法で優秀な日本の指導者たちを裁いたのである。（日本の再起が怖かつたのである。）

国際裁判で罰せられるのはアメリカであったが、戦後のどさくさを利用して攪乱戦法で日本だけを「悪者」に仕立て上げたのである。日本は疚しいことはしていない！日本人は自信と誇りを取り戻さなければならぬ！

パレンバン大勝利がなかつたなら、日本は消滅していたことを多くの日本人は知らない。アメリカが行った占領政策の裏に嵌つたのであり、この呪縛から解放されなくてはならない。また大東亜戦争を勇敢に戦つた将兵を顕彰することは日本人の責務でもある。

日本人は、昭和十七年二月十四日のパレンバン落下傘奇襲作戦を忘れてはならない！

# 川内時男校長の教育書

## 徳島県立中学校校長 川内時男

<http://100prs.info/katudoukiraku/nakama/R2-1-17kawauti/top.htm>

### 32、教育に科学を取り入れ、根拠なき定説を排除せよ (5/24)

教育界には根拠のない定説がたくさんあります。例えば「詰め込み教育は子供の創造性を失わせる」は教育界だけでなく、世間でも広く信じられています。しかし私はその確たる根拠は見ただことも聞いたこともありません。「技術は最も創造性が要求される分野ですが、その「技術でトップレベルのインドは詰め込み教育で有名です」

「画一教育は子供の個性を埋没させる」も広く信じられている根拠なき定説です。「個性の伸長」「個性の尊重」が叫ばれ始めたのは半世紀ほど前からですが、現代の子供が昔の子供に比べて個性豊かになったとは思えません。また、今の大人が個性豊かになったとも思えません。老人の懐古趣味で言うのではありませんが、むしろ画一教育全盛だった昔の方が大人も子供も個性豊かだったように思います。

根拠なき定説はこれ以外にもたくさんあります。「丸暗記は無意味」「教え込む教育では考える力が育たない」「受験勉強に追われるとストレスで非行が増える」などです。これらはほとんどの国民がいささかの疑いもなく信じている定説です。

「つかう一度立ち止まって考えてみて下さい。本当にそうか。そのことを信じているだけの根拠やエビデンスはあるのか。何の根拠もなく、ただ信じているだけではないのか。根拠もなく信じているのは宗教であり科学ではありません(宗教を批判しているわけではありません)。

私は長い教師生活の中で、これらの定説が間違っているのではないかと疑問を持ち続けていました。そして動物行動学や脳科学などの先端科学を聞きかじったり、エビデンスをもとに考察したりしました。それほど深く研究したわけでもなく、また決して博学でもない私ですが、教師の嗅覚として「これは間違っている」と確信しました。私の嗅覚が正しく、これらの定説が間違っているとするなら、これら教育界の定説は「迷信」ではないと言いつつことになりません。だとすれば恐ろしい話ではありませんか。

「教育は国の礎」と言いながら、その大事な教育を「迷信」に頼っているのですから、こんでもない話です。しかし私から見て「迷信」であっても、学者先生やマスコミはじめ、多くの国民もこれを正しいと信じているのですから始末に負えません。これらの定説が迷信であることを明らかにするには、科学の視点で検証する必要があります。私はこの「根拠なき定説」を教育界から一掃するた

め、このままでも真実を世に訴え戦います。33、脳科学で教育を近代化せよ (5/27)

私が教育界に何としても取り込んで欲しいと願っている科学、それは脳科学です。脳科学は日進月歩の科学の中でも最先端のものです。まだ未知の部分が多く、そのまま子供の教育に活かせるほど成熟していませんが、それでも脳の働きのかかなりの部分が解明されてきました。そしてその成果は様々な分野、特に医療分野で幅広く活用され、次々と新しい治療法が開発されています。一方教育界はどうでしょう。教育は平たく言えば心を発育させる営みです。そして心とは即ち脳の働きですから、教育は脳科学と密接な関係にあるはずですが、しかし教育界が脳科学の研究成果を取り入れ、新しい教育を開発したという話は未だ耳にしたことがありません。そもそも教育関係者は脳科学に関心がないように見えます。専門家の方々は得てして自分の専門分野にはくわしい反面、それ以外の分野に無知な場合が多いものです。

教育界はとりわけこの傾向が強く、脳科学や動物行動学などの新しい学問と交わろうとしません。そればかりか、これを拒絶しているようにさえ見えます。言ってみれば自分たちが信奉する「古い教育論」を引きもつっこいと言えませう。「学校の常識は世間の非常識」といつて笑われるようでは役目を果たせません。

話を脳科学に戻します。脳科学に過

大な期待は禁物ですが、「教育近代化」のためにはこれを取り入れなくてはなりません。脳科学については私は全くの素人ですが、九州大学名誉教授の井口潔博士の著書をもとに、教育に関する部分の要点をお話します。少々退屈しようが、ご辛抱ください。

「上の脳は生命維持装置とも言うべき脳幹と、食欲・性欲・集団欲や喜怒哀楽・美的感性を司る大脳辺縁系(感性脳とも呼ばれる)」と、知性を司る大脳新皮質(知性脳とも呼ばれる)の二層構造になっています。ここで大事なことは、これらの部位は生まれたときから同時に機能しているのではなく、年齢と共に順次機能し始めると言いつつことです。生まれたての赤ん坊ではこれらの脳はまだニューロン回路がほとんど未熟で、出生後の養育刺激で3歳頃までに大人の80%、10歳頃までにほぼ大人並に近づくとのことです。すなわちヒトの体は完成された状態で生まれますが、脳はその後10年かけて完成するのです。ですから教育はその脳の発達に歩調を合わせて行わなければ効果がないのです。テレビで教育学者やコメンテーターが教育について語っているのをよく耳にしますが、多くは幼児から小・中学生、時には高校生までも一括りにして子供と呼び、「子供の教育はかくあるべし」と言っていることです。大間違いです。子供の年齢と脳の機能を無視して「詰め込むことより子供自身の頭で考えさせよ」などと言いつつのは脳科学に無知な人の言いつつことです。



# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPPO 法人百人の会

●弊NPPO 法人百人の会は、第100(通算110) 回定期勉強会・理事会の時期となっておりますが、コロナウィルスのため、アクセルとブレーキ両方に足を置いたままの状態となっております。いろいろお話ししなければならぬことも溜まってきていますが躊躇する日々です。コロナが下火になり次第再開致します。

## 台湾人日本国籍確認訴訟を支援する会

第一回口頭弁論  
日時 5月20日 11:00  
法廷 東京地裁103号法廷  
※終了後、報告集会を予定

## 編集後記

### その1 映画「めいみへの誓い」

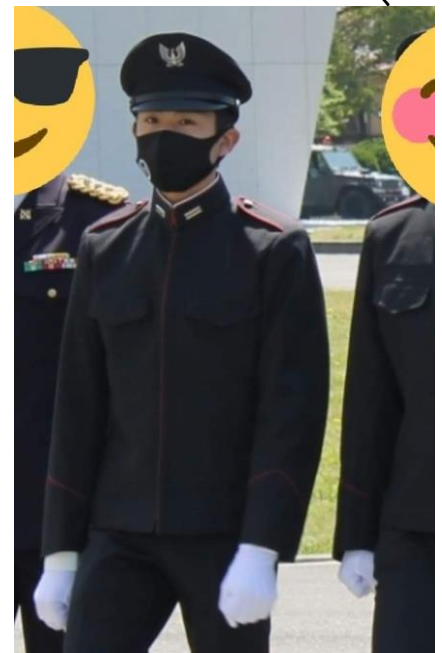
2月20日 映画「めいみへの誓い」(原作・脚本・監督 野伏翔)の封切りに、大阪十三第7劇場にて鑑賞してきた。映画内容そのものは私にとって十分知り尽くしていることなどで、特段の思いはないが、拉致事件をあまり知らない人には深い感動を与える作品だ。

12:10公開に30分ほど早く着いた。時間があるので映画館の前の喫茶店でコーヒー。ちよつとそこに、挨拶のため来阪の監督が、時間調整をされていた。雑談。それほど親しいわけでもないのに私の名前を覚えていただいたことに、感謝！ 実は私、この映画には特別の思いがある。3年ほど前になるが、東京の土屋先生から電話があり、「友人の野伏さんが、「拉致」の映画を作る。どう思う。」というものだ。そもそも土屋先生が野伏さんから受けた相談を私に丸投げしてきたわけだ。私の開口一番の答えが、今でもはっきり覚えている。「野伏さんて資産家ですか。「詳しくは知らないが、資産家と言つ話は聞いてない。」と土屋さん。そこで私は、「絶対やめるべきです。製作費がそのまま借金で残ります。」とお答えした。当時はまだ、そんなにクラウドファンディングが一般的ではなかった。土屋さんもやめるように言ってくなどとおっしゃっていた。ところが完成。野伏さんに脱帽。だから一番乗りで鑑賞しないとキリが立たないのだ。

### その2 友 出征ス

3月31日、大阪市会吉見議員の息子 息工君が旅立った。新大阪で、『出征兵士を送る歌。』をホーム

で歌い、見送りがかったが、入院中！ 嫁に行ってもらった。残念。



彼の旅たち先は横須賀にある陸上自衛隊高等工科学校。防衛大の高校版。倍率も10倍くらいの難関校。彼は中学校でのお別れ会で「僕は日本を守りたい」と発言したらしい。彼は何年も前から防衛には興味があったので、「日本を守りたい」などと思いつきで言ったわけではない。もちろん言った言葉の重みをご自分で感じているかはわからないが、私は彼の思いを信じたい。私と彼とは50歳くらい歳が違う。しかしこの言が我々の絆。親友だ。彼は一昨日五体満足(足は少々短め)で旅立った。しかし彼もいつかはリタイアし帰ってくる。そのとき必ず、五体満足で帰って来いよ。その保証を日本国に求めたい。世がせなら「命を懸けて」となるのだろうが。

要は彼には戦地に行つてほしくない。 増木重夫

## 原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等ごどんなメールでお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。また10g程度余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

●弊紙は購読料は頂戴しておりません。(発信名義「NPPO 法人百人の会」)。

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から情報が送られてきます。それをメルマガで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを

## 活動資金の協力をお願い

郵便振替 00980-8-245547 MASUKI 情報デスク  
口座振替 099-0245647 MASUKI 情報デスク  
三菱UFJ銀行 土田中央支店 0044349 普通 増木重夫